

● インターネットカフェでの個人情報流出

インターネットカフェのパソコンには、利用者の個人情報を盗むような不正なソフトがインストールされていることがあります。パソコンで入力した情報は、削除したつもりでもハードディスクに残るため、第三者が情報を復元し、預金口座の操作やカードの不正利用、迷惑メールの送信などに悪用される可能性があります。



不特定多数の人が同じパソコンを利用するため、きちんとしたセキュリティ対策がされていないインターネットカフェではいけないこと。

ネットバンキング

ネットショッピング

個人情報の送受信



● ファイル共有ソフトの利用

ファイル共有ソフトでは違法ファイルが蔓延しており、安易なダウンロードが違法行為につながるおそれがあります。また、ウイルスも蔓延しているため、大切なファイルが流出し、情報が回収できなくなるおそれもあります。ウイルスにより、パソコンが使用不能になった例もあり、使用については家族で話し合うことが必要です。



- ・ファイル共有ソフトの使用は危険であることを認識する。
- ・安易なダウンロードは違法行為になるおそれがあるので注意する。
- ・ウイルス対策ソフトを導入する。

安易なダウンロード



※ファイル共有ソフトとは? … インターネットで不特定多数のユーザーとファイルをやりとりするためのソフトウェア

都道府県警察のサイバー犯罪相談窓口

<http://www.npa.go.jp/cyber/soudan.htm>

インターネット安全・安心相談

<http://www.npa.go.jp/cybersafety/>

本サイトは、インターネット上のトラブルの解決を支援するサイトです。具体的な被害にあわれた場合は、お近くの警察署やサイバー犯罪相談窓口へご連絡ください。

警察庁携帯サイト

<http://www.npa.go.jp/cyber/mobile/index.html>

※ただし、一部の機種では表示できない可能性があります。



警察庁 監修

サイバー犯罪対策のホームページ <http://www.npa.go.jp/cyber/>

財団法人 社会安全研究財団 作成

ホームページ <http://www.syaanken.or.jp/>